

シリーズ秋田の先人たち

秋田俳壇に全盛期をもた
らした俳人

吉川五明

享保十六（一七三二）年生

享和三（一八〇三）年没

秋田市大町三丁目（旧茶町）生まれ



主な事蹟

御用聞町人那波三郎右衛門祐祥の五男として生まれ、吉川家の養子となる。蕉風復興を志し、五十二歳で家督を譲り、川尻上野に小夜庵を結んで隠棲し、俳事に専心した。奥羽四天王と称せられ、秋田蕉風の祖と仰がれた。九代藩主義和も庵を訪れ、一句を所望したという。